

〔同窓会報告〕

## 「短大一期入学生 同窓会」

村上 晃司(短大1回生)

平成 20 年 1 月 12 日、卒業から 15 年目にして初めての同窓会を開催した。

昨年、母校も念願の四年制大学に昇格したこともあり、新校舎の見学を企画したところ、15 名の参加があった。学内の案内を西谷先生にお願いすると快く承諾してくださり、本館(新校舎)と1,2 号館を約 2 時間かけて案内して頂いた。まず、我々が学生時代に勉学に励んだ(?)1 号館では、当時にはなかった MRI 装置など新しい機器が導入されている教室や、当時のままの実験室・機器もあり、興奮気味に一つ一つの教室を見て回った。続いて、5 階建ての新校舎を見学した。皆が一番驚いたのは、最上階にある多目的ホール(学友会記念ホール)であった。大型のプロジェクターなどが備えられており、ここで行われる式典や発表に使用できる在校生がとても羨ましく感じた。西谷先生、廣瀬事務局長をはじめ、快く迎えて頂いた大学職員の方々に、この場をかりて御礼を申し上げます。有難うございました。

その後、懐かしい母校に後ろ髪を引かれながら、メインイベントが催される京都センチュリーホテルへ移動。幹事の予想を上回る出席者数で、花岡元学長をはじめ教職員の方々7 名、北は北海道、南は鹿児島までの同窓生 39 名もの参加者であった。卒業式以来ではあったが当時と少しもお変わりにならない花岡先生のご挨拶を頂き、山田先生の乾杯の音頭で宴会は盛大に始まった。懐かしい先生方を囲みあちらこちらで談笑し、皆多少の歳はとっていたが驚く程別人に変身している者はおらず、学生当時の懐かしい思い出話や、社会の中堅として活躍している話に花を咲かせていた。出席して頂いた先生方全員にもご挨拶を頂戴し、懐かしい想いで聞き入っていた。あっという間に時間が過ぎ、最後に先生方に負けず劣らず貫禄のついた高橋元自治会長に第 2 回同窓会の幹事を任命し、何年後になるか分からない(5~7 年後とのこと)再開を約束し、同窓会を散会した。話し足りない者は、それぞれのグループに別れて、思い出の京都の街へ姿を消していった。

(追伸) 短大卒業生の同窓会が、まだまだ少ないようです。1 回生の同窓会開催で他の学年の人達に刺激になってくれれば...と先生方が言っておられましたよ。同窓会はいいですよ~! 一度考えてみてはどうですか~?

以上

\* 通巻 187 号 2008 年 4 月 10 日発行(H20 - No.1)より